

多文化コミュニケーション入門1

明るくて頑張っているベトナム人のスーンさん

○ グループ

フィトリ・アユ

1. スーンさんのプロフィール

私は ○ グループで二人の日本人と二人の留学生が入っている。その留学生の一人はホアンスーンというベトナムから来た人で二年生で21歳の女の子である。この授業を受けているベトナム人は多くて、彼女もその一人である。見た目は、彼女は日本人のように肌が白く、目が細く、髪が黒くてストレートヘアで奥ゆかしい人である。彼女の性格はとても明るくて話しやすい人である。初めて会った印象も、彼女とすぐ話ができて、まるでもう長い間交流していたような気がする。話しにくい感じ、恥ずかしい感じという仕草が彼女の表情からぜんぜん見えない。隠し事もなさそうで、丁寧に話しかけてくれる。特に日本語が本当に上手な人なので、コミュニケーションには問題がないと思う。

彼女はこの授業で他のベトナム人とよく冗談を言い、性格からみれば冗談と遊ぶことが好きな人なのでまるでインドネシア人のようである。例えば、話したいことや聞きたいことがちゃんと伝えられる。一番良かったことは私と話がとても合うことである。このグループのメンバーと他愛のないことを話していた時、彼女が納豆と蛇、毛虫を嫌っているということがは分かってきた。私にとって、スーンさんは良い人で、付き合いやすい人で、これからもスーンさんのことと、またこのグループの他のメンバーのことをもっと知って仲良くしたい。

2. 特に聞きたいテーマ

最近、Facebook や Twitter などは流行しているので、誰でも利用している。今まで、スーンさんが社交的な人で、触れ合いが好きだと思うので、上記書いた Social media network (SNS) についてどう考えるのか、どのように使うのかを聞きたいと思った。

3. 話し合いの結果

6月13日

秋田大学に留学しているベトナム人はスーンだけではなく、30人もいそうである。この授業を取っている他のベトナム人もけっこう多い。彼女は毎日学校で勉強するだけではなく、日本での生活ができるように、寿司屋でほとんど毎日夜までバイトしている。週末もバイトをする場合もある。そこから見ればスーンさんは日本の生活を本当に必死にがんばって

いることははっきりと分かった。私はその一生懸命に頑張っているスーンさんがすごいと思う。特に彼女は勉強の時間とバイトの時間きちんと取り計らうことができるからである。ほとんどの時間を毎日勉強とバイトに使っているため、遊ぶ余裕がないほど忙しいようである。正直に言えば、そんな我慢が強いスーンさんのような人を知っていて、私は誇らしい。なぜかという、彼女はまだ若いにかかわらず、このような大変な生活を堪えられるからである。ただし、暇な時間があれば、ベトナム人の友達と一緒に誰かのアパートで小さなパーティーや食事をするそうである。旅行はあまりできないそうである。しかし、いつも微笑んでいるスーンさんはこのような大変な生活にをしているようには見え、他の学生と同じように普通に生活したり、振舞ったりしている。Facebook をやるのも好きだそうである。

6月27日

スーンさんとの二回目の話はいつも同じの一般1の103室でやっていた。二回目の話題は以前の話、いわゆる Facebook の話の続きである。スーンさんはみんなと同じく Facebook をすることが好きである。「一日何回ぐらい Facebook を見るんですか」と彼女に質問した時、彼女は「たぶん一日に1回、2回ぐらいだけ Facebook を見ている」と答えた。使っている携帯電話はインターネットの使い放題を利用していないので、学校やバイトから帰ってからも自分の部屋で Facebook を見る。そういう話だったのでたぶん彼女は Facebook にあまりはまっていないかもしれない。それに、普通の Facebook の友達は毎日つぶやきをするのが好きだが、ほとんど彼女は Facebook を見るだけで、つぶやきをあまりしない。あまりしないというよりはあまり好きじゃないと言える。なぜスーンさんはつぶやきがあまり好きじゃなかろうか、答えは結構単純で、自分のプライバシーを誰にも教えたくないからだそうである。毎日つぶやきをすると、赤の他人がは今の彼女の状態や気持ちを知って、ストーカーが出てくる恐れがあるかもしれないと心配をしているのである。そこで、ストーカーを作らないように、まずは自分からもちゃんと気をつけて、行動をしている。更に、毎日よくつぶやきをしたら、Facebook の友達は自分の活動をたくさんつぶやいたページを見て、もしかしたら飽きてしまうかもしれない。私とスーンさんは同じ気持ちで、毎日 Facebook で一日何回も同じ人のつぶやきを見て、その人のつぶやきが邪魔だと思い、あまりにもオープンすぎるんじゃないかと思ってしまうこともある。特に、短くて、ぜんぜん必要じゃない情報、自分が感じていること、プライバシーのこと、怒り、文句ばかりのつぶやきはちょっと邪魔だと思ってしまう。プライバシーを教えすぎる人は時々可笑しいんじゃないかと彼女はそう思っている。

Facebook は生活にあまり必要はないと思うスーンさんは、Facebook でプライバシー設定をしている。また、知り合いじゃない人から友達リクエストが届いてくるとその友達リクエストを絶対に受け取らないと言っていた。最近では嘘の基本個人データ作る人が多いから、本当に気をつけないといけない。そのため、Facebook の友達はあまり作らないそうである。だいたい 500 人以下しかいない。スーンさんは私と同じで、知り合いではない人やあまり親しくない人とは、Facebook 上の友達を作りたくないタイプである。しかし、有名人ではない普通の一般人が千人以上の友達、3 千人以上の友達や、知り合いを作るのは有り得ないじゃないか、いったい、どこからその 3 千人以上の友達や、知り合いと出会ったのか、そんなに人気な人なのか、そんなに簡単にプライバシーを配っているような人なのかと恐ろしく思った。

つぶやきのみに関わらず、Facebook で自分の写真ばかりをアップすることとも彼女は少し避けている。なぜかという自分ばかりの写真をアップすることも毎日つぶやきをすることと同じ行動なので、友達から自分がナルシストな人だと思われてしまいたくないからである。ナルシストという言葉はあまり詳しく知らないが、要するに自分の容姿を自慢して自分の綺麗な姿を皆にも見せたいというタイプのことだと思う。ただし、友達と一緒にとった写真、友達からタック付けされた写真なら、それが仕方はないことである。

そして、Facebook 以外で使う Social media network (SNS) で彼女がよく利用しているのは携帯でやっている Line である。彼女が Line を利用している理由は、Line の友達リストは自分の携帯電話に登録されている友達のコンタクトリストなので、みんなだいたい友達か周りの知り合いなので安全な気持ちでメールをやり取りができるからだそうである。Line によって友達にあいさつぐらいだけではなく、たまにクラスメートと宿題、レポートなどに関する重要な話をしたり、お互いに情報を交換したり、やりとりが便利で簡単にできる。

このように傍ら見ればは明るく見えるが、彼女を深く知ることで、生活も勉強も真面目なスーンさんは本当に素晴らしい女性だと思う。特に、スーンさんは周りにいる知らない人から自分のプライバシーをちゃんと守っていて、これから私もスーンさんの考え方や、上記に述べた行動を真似をすればどうかなと思えるようになった

4. まとめ

私にとってスーンさんは私と似ていることがたくさん見付かって、新しい良い友達ができて、とても良かったと思う。スーンさんは私と同じで Facebook や、Twitter の利用などについて自分のプライバシーに関する情報を知らない人からちゃんと守るべきだと思う。

5. 授業を終えて

5.1 文化、コミュニケーションとは何か

文化とは文化とは人間、社会が作られた物で、人間が自然に手を加えて、形成してきた成果のことである。目に見えないものと目に見えるものを二種類として分けられた。目に見えない者の例は規則、美術、考え方、道徳、ルールなのである。目に見えるのは技術、衣装、建物、食べ物などである。

コミュニケーションとは単純な定義で、人と人との間、また、社会と社会の間、団体と団体の間で 繋げたり、情報を広げたりできるように言葉と理解という手段を利用することである。そこで、この授業では、グループの中で総合インタビューによって相手の考え方を理解し合っているコミュニケーションを学ぶことができる。

5.2 授業について

最初はグループ中で全然知らなかった学生と話せられて、緊張感もあったが、理解という言葉は何回も思い出されて、インタビューの中で上手くいっている。この授業では初めて、日本人の学生と他の留学生と有効なグループで勉強や協力させられて、本当に面白くて、いい勉強になったと思う。それはいい点である。改善してほしい点は特にないが、次の学期にもし一つのグループのメンバーを巡らないで、他のグループのメンバーも少し協力させられたら、もっと面白いと思う。